

## お知らせ

2017年5月15日  
井関農機株式会社

### 「農業データ連携基盤（データプラットフォーム）コンソーシアム」に参画

当社は、戦略的イノベーション創造プログラム（次世代農林水産業創造技術）の生産システムコンソーシアムに設立される「農業データ連携基盤（データプラットフォーム）」に参画いたしますので、お知らせいたします。

当コンソーシアムは、これまで経験や勘に基づき高付加価値型農業を実現してきた日本農業の特性をいかしてビックデータ時代の新たなエビデンスベースのデータ活用型農業を、産官学が連携した「農業データ連携基盤（データプラットフォーム）」の構築により世界に先駆けて実現することを目的としています。

当社は、農業機械メーカーとして、農業 ICT や農機に関するシステムの連携やデータの活用等に取り組み、日本農業の発展に貢献してまいります。

#### 〔農業データ連携基盤（データプラットフォーム）について〕

- (1) 農業データ連携基盤（データプラットフォーム）を立ち上げデータ活用型の農業を展開するために、このたび、ICTベンダー、農業機械メーカー、研究機関、農業者及び農業者団体等の農業分野に関係する多様な主体が参画したコンソーシアムを設立します。
- (2) 農業データ連携基盤は、パブリッククラウド上に構築し、ベンダーやメーカーの壁を超えて異なるシステム間のデータ連携を可能にするほか、公的機関などが有する様々な農業関連情報、公的研究機関等が有する多様な研究成果に関するデータ等をプラットフォーム上に集約し、オープンデータ、あるいは有償データとして提供可能とします。
- (3) 2017年中を目処に、主に農業生産現場を主目標とする、「農業データ連携基盤」のプロトタイプ運用を開始します。このプロトタイプ版を活用し、農業者や農業者団体等の多様な参加主体が、システムの連携やデータ活用などをモデル的に進め、エビデンスベースのデータ活用型農業の有効性を検証し、農業者への新たなサービスの提供等につなげていく予定です。
- (4) 今後、生産現場での利活用に加え、流通から消費まで連携の取組を拡げ、広く様々な主体の参画を進め、関係者との連携を深めつつ、取組を展開することとしています。

※詳細につきましては、慶應義塾大学 SFC 研究所の本件に関するリリースをご参照ください。

#### 〔本件に関するお問合せ〕

井関農機株式会社 IR・広報室 03-5604-7709

#### 〔農業データ連携基盤（データプラットフォーム）コンソーシアムに関するお問合せ〕

慶應義塾大学環境情報学部 神成淳司研究室 [kaminari-core@sfc.keio.ac.jp](mailto:kaminari-core@sfc.keio.ac.jp)

以上